

洪水

土砂

地震

避難所等情報一覧

共通

防災

マップ

保存版

2021年4月

当別町

はじめに

自然災害に対応するためには、自分の命は自分で守る「自助」。向こう3軒両隣の精神のもと、皆さんが協力して地域を守る「共助」。行政による災害に強いまちづくり「公助」の連携が必要不可欠です。

災害から大切な命を守るためには、日頃より地域の危険箇所を知り、災害時の連絡方法や避難方法、防災用品などについて家庭や地域で話し合い、防災意識を高めて災害に備えましょう。

目次 Contents

○災害の記録	1・2
--------	-----

洪水	○警戒レベルを用いた避難行動	3
	○洪水・風水害	4・5
	○洪水ハザードマップ	
	当別町全域	6・7
	①当別地区（北）	8・9
	②当別地区（南）	10・11
	③六軒・樺戸地区	12・13
	④弁華別地区	14・15
	⑤蕨岱地区	16・17
	⑥中小屋地区	18・19
	⑦太美地区	20・21

土砂	○土砂災害	28・29
	○土砂災害ハザードマップ	
	①スウェーデンヒルズ地区	30・31
	②金沢地区	32・33
	③茂平沢地区	34・35

地震	○地震発生！そんなときどうする	38・39
	○地震ハザードマップ 揺れやすさマップ	40・41

避難所等 情報一覧	○避難所一覧	42・43
--------------	--------	-------

共通	○非常時の持ち出し品・備蓄品チェックリスト	44・45
	○マイ・タイムライン	46・47
	○防災重点ため池	48
	○わが家の「防災・緊急情報」メモ	49
	○緊急時連絡先・防災情報発信	裏表紙

災害の記録

平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震では、地震による災害だけでなく、北海道全域が停電する「ブラックアウト」に見舞われ、日常生活に大きな支障をきたしました。

また、近年は本州を中心に台風や集中豪雨の被害も多発しております。

当別町でもこれまで大雨による河川の氾濫や暴風、台風、融雪災害などが発生しております。

これら過去の災害を思い起こし、これからの防災対策に活かしましょう。

主な災害の記録

発生年月日	種別	被害状況
昭和36年7月25日	集中豪雨	当別川氾濫、死者2名
昭和37年4月 4日	融雪災害	当別川氾濫
昭和40年8月 9日	台 風	台風9号、10号による集中豪雨
昭和45年5月11日	洪 水	石狩川、材木川洪水
昭和47年9月23日	洪 水	石狩川、材木川洪水
昭和50年8月23日	洪 水	石狩川洪水
昭和56年8月 3日	集中豪雨	石狩川他各河川氾濫
昭和56年8月21日	台 風	台風15号の大雨による各河川の氾濫
昭和60年9月 1日	台 風	台風13号の大雨による各河川の氾濫
昭和61年9月 4日	台 風	台風15号の大雨による各河川の氾濫
平成 4年9月 1日	集中豪雨	台風17号と温帯低気圧の大雨、低温などのため農作物などの被害
平成13年9月11日	台 風	台風15号と秋雨前線による大雨
平成16年9月 8日	台 風	台風18号の強風による家屋などの被害
平成30年9月 5日	台 風	台風21号の強風による停電、倒木、家屋などの被害
平成30年9月 6日	地 震	北海道胆振東部地震による停電など



昭和47年9月 洪水



昭和56年8月 集中豪雨



昭和61年9月 台風



平成30年9月 台風①

災害の記録



平成30年9月 台風②



平成30年9月 台風③



平成30年9月 胆振東部地震①

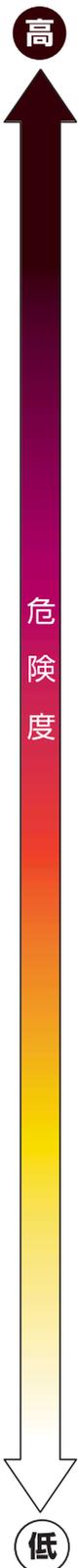


平成30年9月 胆振東部地震②

警戒レベルを用いた避難行動

洪水や土砂災害、河川の氾濫などの際に、5段階の「警戒レベル」を用いた避難指示などの避難情報を発信します。

警戒レベル5【災害発生情報】、**警戒レベル4【避難指示】**または、**警戒レベル3【高齢者等避難】**が発令された場合は、避難行動をとりましょう。



警戒レベル	住民が取るべき行動	住民に行動を促す情報
		避難情報等
警戒レベル5 命を守るための最善の行動をとる	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報 (可能な範囲で発令) 
警戒レベル4 危険な場所から全員避難	速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所へ避難しましょう。	避難指示 (当別町が発令) (緊急的又は重ねて避難)を促す場合に発令 
警戒レベル3 危険な場所から高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は危険な場所から避難をしましょう。その他の人は避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 (当別町が発令) 
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報 (気象庁が発表) 
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表) 

■避難時の行動を示す「避難情報等」については、今後、見直しされる場合があります。

洪水・風水害

家の点検・整備をしましょう

屋根・雨どい

- 不安定なアンテナは補強する。
- トタンがめくれていないか。
- 瓦のひび・割れ・はがれがあれば直しておく。
- 雨どいにたまったゴミや木の葉を取り除いて雨水の排水をよくする。

板塀

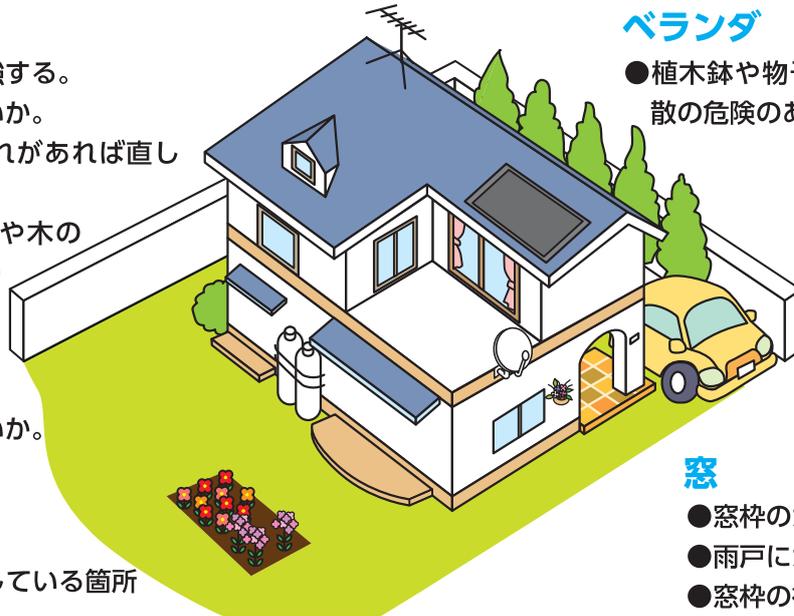
- 板塀に腐りや浮きはないか。
- 板塀には支柱を立てる。

ブロック

- 傾きやひび割れ、破損している箇所はないか。
- できれば安全な生け垣などにする。

その他

- プロパンガスのボンベは鎖でしっかり固定する。
- 商店などでは看板のぐらつきにも注意する。
- ゴミ箱や植木鉢などは室内に入れるか、飛ばないように固定する。
- 庭木にはそえ木をしておく。
- マンションなどでは窓ガラスにガムテープを貼る。



ベランダ

- 植木鉢や物干しざおなど、落下や飛散の危険のあるものはかたづける。

窓

- 窓枠のがたつきはないか。
- 雨戸のがたつきがないか。
- 窓枠の補強をする。

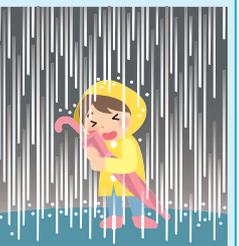
外壁

- モルタルの壁に亀裂はないか。

排水溝

- 側溝のゴミや土砂をとり除き、雨水の排水をよくしておく。
- 雨水ますの目皿を掃除しておく。

雨の降り方と災害の目安

1時間雨量 (mm)	10~20	20~30	30~50	50~80	80以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
降り方のイメージ					
	ザーザーと降る。	どしゃ降り。	バケツをひっくり返したように降る。	滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
浸水害・洪水災害の発生状況	この程度の雨でも長く続くと注意が必要		下水道管が雨水で一杯になり、水が流れず、あふれる	マンホール蓋から水が噴出する	大規模な災害が発生する恐れが強く、嚴重な注意が必要
土砂災害の発生状況	小規模のがけ崩れが始まる	がけ崩れ、地すべりが起きやすい	土石流が起こりやすい		

風の強さと吹き方

(平均風速: 1秒あたり)

10m 以上~15m 未満	15m 以上~20m 未満	20m 以上~25m 未満	25m 以上~
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	何かにつかまっていないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	屋外での行動は極めて危険。



避難する際の注意点

避難する前に

避難する前に、電気ブレーカーを落とし、ガスなどの火元を消し、避難所を確認しましょう。また、家族・親戚や知人に避難することを連絡しておきましょう。

動きやすく安全な格好、2人以上で避難

避難する時は動きやすい格好で、2人以上、近所の方に声を掛け合ってなるべく集団で避難しましょう。



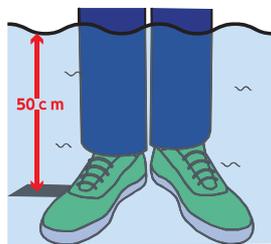
履物に注意する

ひもで固定できる運動靴が最適です。長靴は浸水が深いと中に水がたまり動きにくくなります。



歩ける深さに注意する

歩ける深さは膝の高さくらいです(約50cm)です。水の流れが速ければ20cm程度でも危険です。無理をせず、高所で救助を待ちましょう。



足元に注意

水の中にはマンホールや側溝など、危険なものがあるので杖などの長い棒を使って足元を確認しながら進みましょう。



垂直避難

屋外への避難が危険と判断した場合は、自宅の上層階や2階以上に避難しましょう。



お年寄りや身体の不自由な人、小さな子どもを優先する

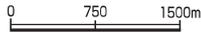
お年寄りや身体の不自由な人、まだ体力のない小さな子どもは背負うなどして一緒に避難しましょう。



洪水ハザードマップ 当別町全域



縮尺 1 : 55,000



※このハザードマップに示した浸水範囲は、各河川流域に想定しうる最大規模の降雨があった場合を想定しています。

【想定しうる最大規模の降雨量】

石狩川 : 72時間総雨量 358mm
当別川 : 72時間総雨量 480mm

凡例

洪水想定浸水深

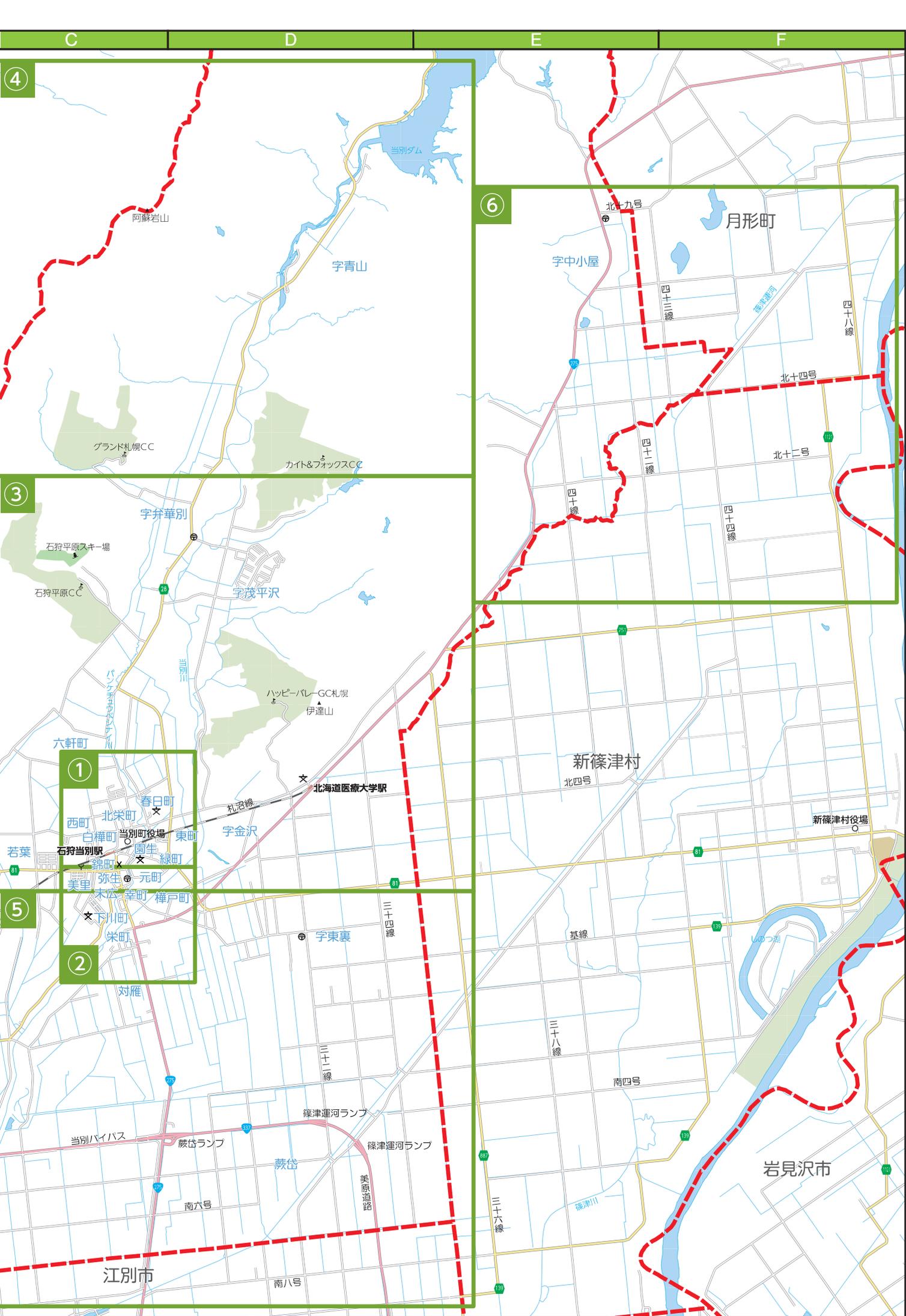
- 5.0m以上の区域
- 4.0m～ 5.0m未満
- 3.0m～ 4.0m未満
- 2.0m～ 3.0m未満
- 1.0m～ 2.0m未満
- 0.5m～ 1.0m未満
- 0.5m未満

指定緊急避難場所	指定避難所
AED設置箇所	病院
国道	地区界
道道	市町村界

浸水深と浸水の目安

 5.0m 以上の区域	2階の天井以上が浸水する程度
 4.0m～5.0m 未満	2階の天井まで浸水する程度
 3.0m～4.0m 未満	2階まで浸水する程度
 2.0m～3.0m 未満	2階まで浸水する程度
 1.0m～2.0m 未満	1階まで浸水する程度
 0.5m～1.0m 未満	大人の腰までつかる程度
 0.5m 未満	大人の膝までつかる程度





洪水

土砂

地震

避難所等情報一覧

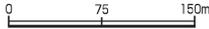
共通

洪水ハザードマップ

①当別地区(北)



縮尺 1 : 5,000



※このハザードマップに示した浸水範囲は、各河川流域に想定しうる最大規模の降雨があった場合を想定しています。

【想定しうる最大規模の降雨量】

石狩川 : 72時間総雨量 358mm
当別川 : 72時間総雨量 480mm

凡例

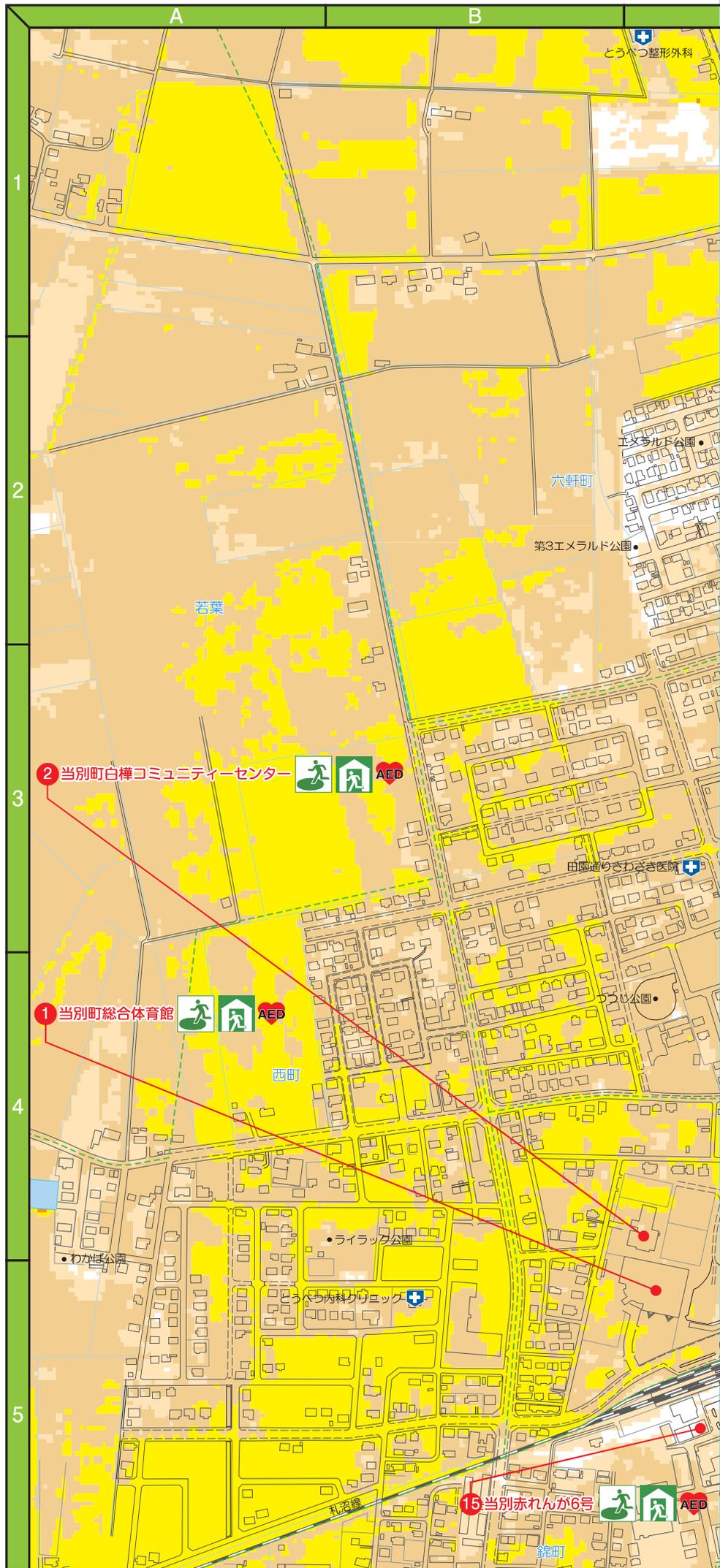
洪水想定浸水深

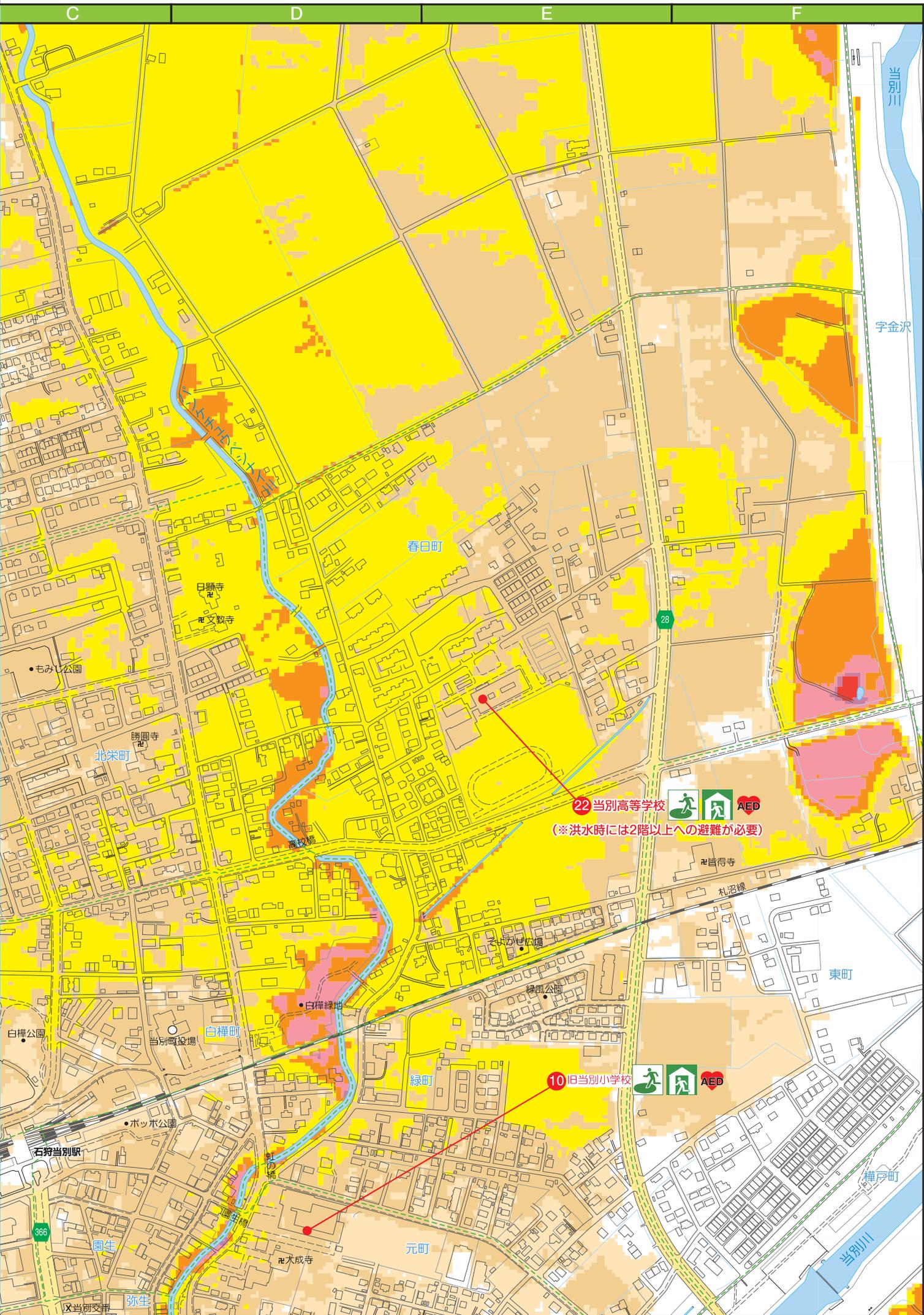
- 5.0m以上の区域
- 4.0m～ 5.0m未満
- 3.0m～ 4.0m未満
- 2.0m～ 3.0m未満
- 1.0m～ 2.0m未満
- 0.5m～ 1.0m未満
- 0.5m未満

指定緊急避難場所	指定避難所
AED設置箇所	病院
国道	地区界
道道	市町村界

浸水深と浸水の目安

 5.0m 以上の区域	2階の天井以上が浸水する程度
 4.0m～5.0m 未満	2階の天井まで浸水する程度
 3.0m～4.0m 未満	2階まで浸水する程度
 2.0m～3.0m 未満	2階まで浸水する程度
 1.0m～2.0m 未満	1階まで浸水する程度
 0.5m～1.0m 未満	大人の腰までつかる程度
 0.5m 未満	大人の膝までつかる程度





洪水

土砂

地震

避難所等情報一覧

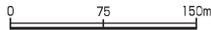
共通

洪水ハザードマップ

②当別地区(南)



縮尺1:5,000



※このハザードマップに示した浸水範囲は、各河川流域に想定しうる最大規模の降雨があった場合を想定しています。

【想定しうる最大規模の降雨量】

石狩川 : 72時間総雨量 358mm
当別川 : 72時間総雨量 480mm

凡例

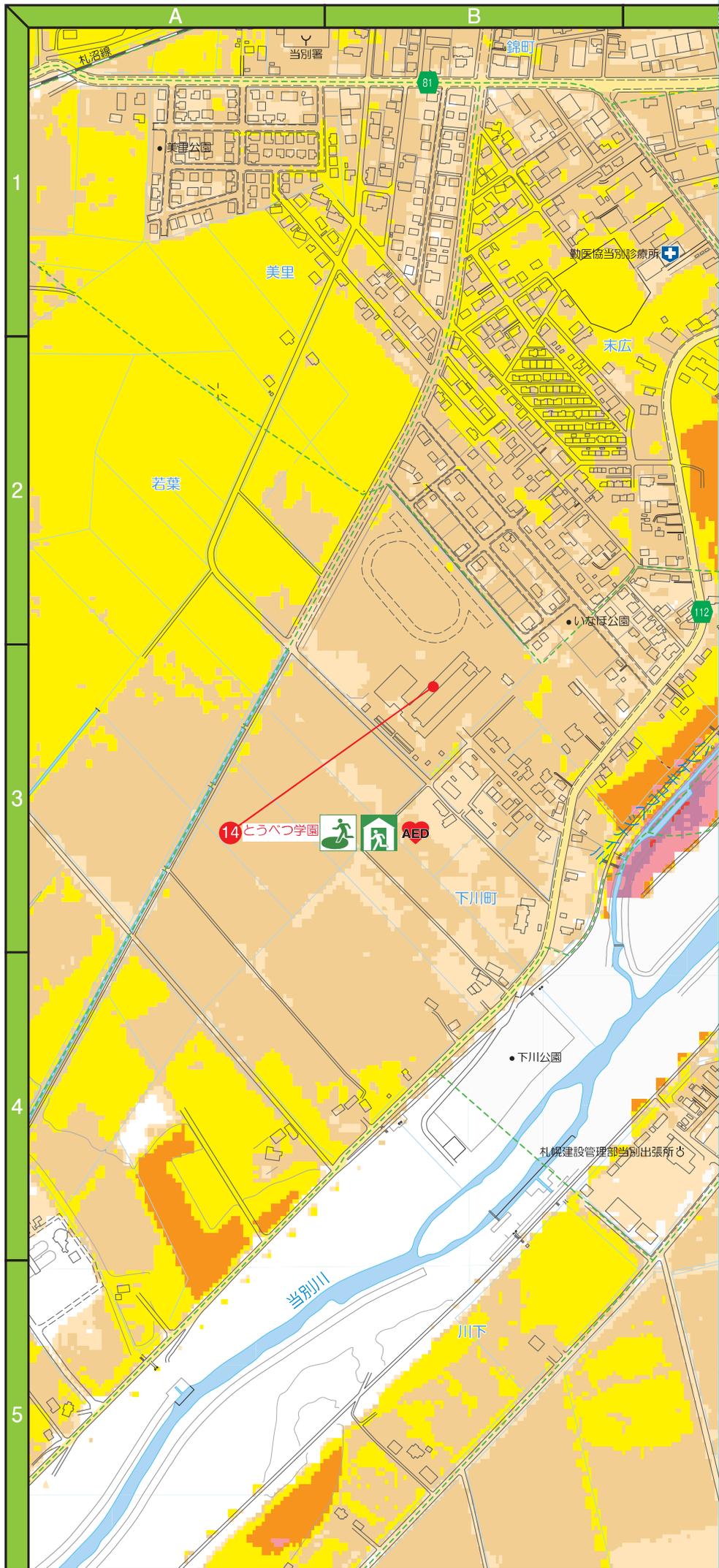
洪水想定浸水深

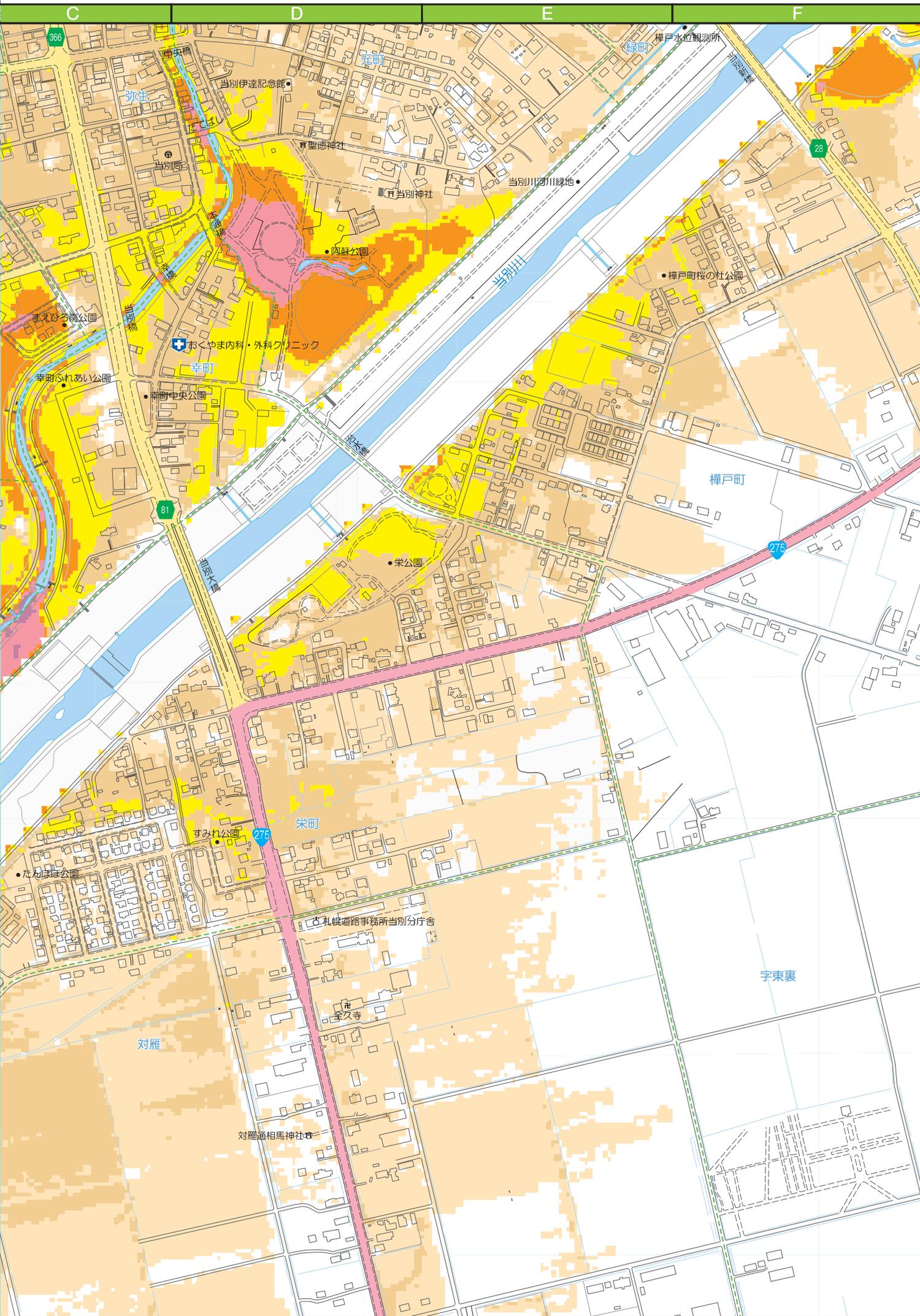
- 5.0m以上の区域
- 4.0m～ 5.0m未満
- 3.0m～ 4.0m未満
- 2.0m～ 3.0m未満
- 1.0m～ 2.0m未満
- 0.5m～ 1.0m未満
- 0.5m未満

指定緊急避難場所	指定避難所
AED設置箇所	病院
国道	地区界
道道	市町村界

浸水深と浸水の目安

 5.0m 以上の区域	2階の天井以上が浸水する程度
 4.0m～5.0m 未満	2階の天井まで浸水する程度
 3.0m～4.0m 未満	2階まで浸水する程度
 2.0m～3.0m 未満	2階まで浸水する程度
 1.0m～2.0m 未満	1階まで浸水する程度
 0.5m～1.0m 未満	大人の腰までつかる程度
 0.5m 未満	大人の膝までつかる程度





洪水

土砂

地震

避難所等情報一覧

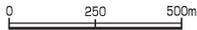
共通

洪水ハザードマップ

③六軒・樺戸地区



縮尺1:18,000



※このハザードマップに示した浸水範囲は、各河川流域に想定しうる最大規模の降雨があった場合を想定しています。

【想定しうる最大規模の降雨量】

石狩川 : 72時間総雨量 358mm
当別川 : 72時間総雨量 480mm

凡例

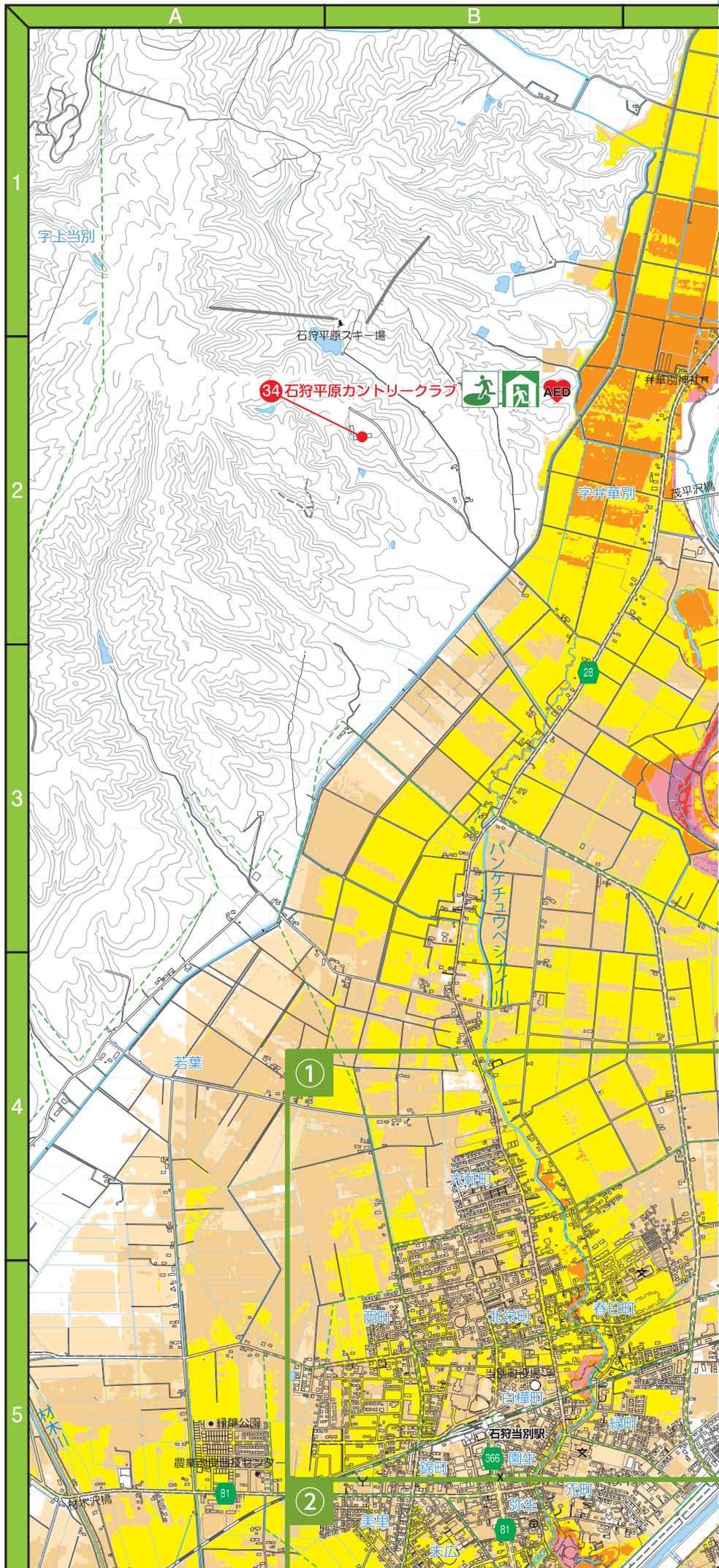
洪水想定浸水深

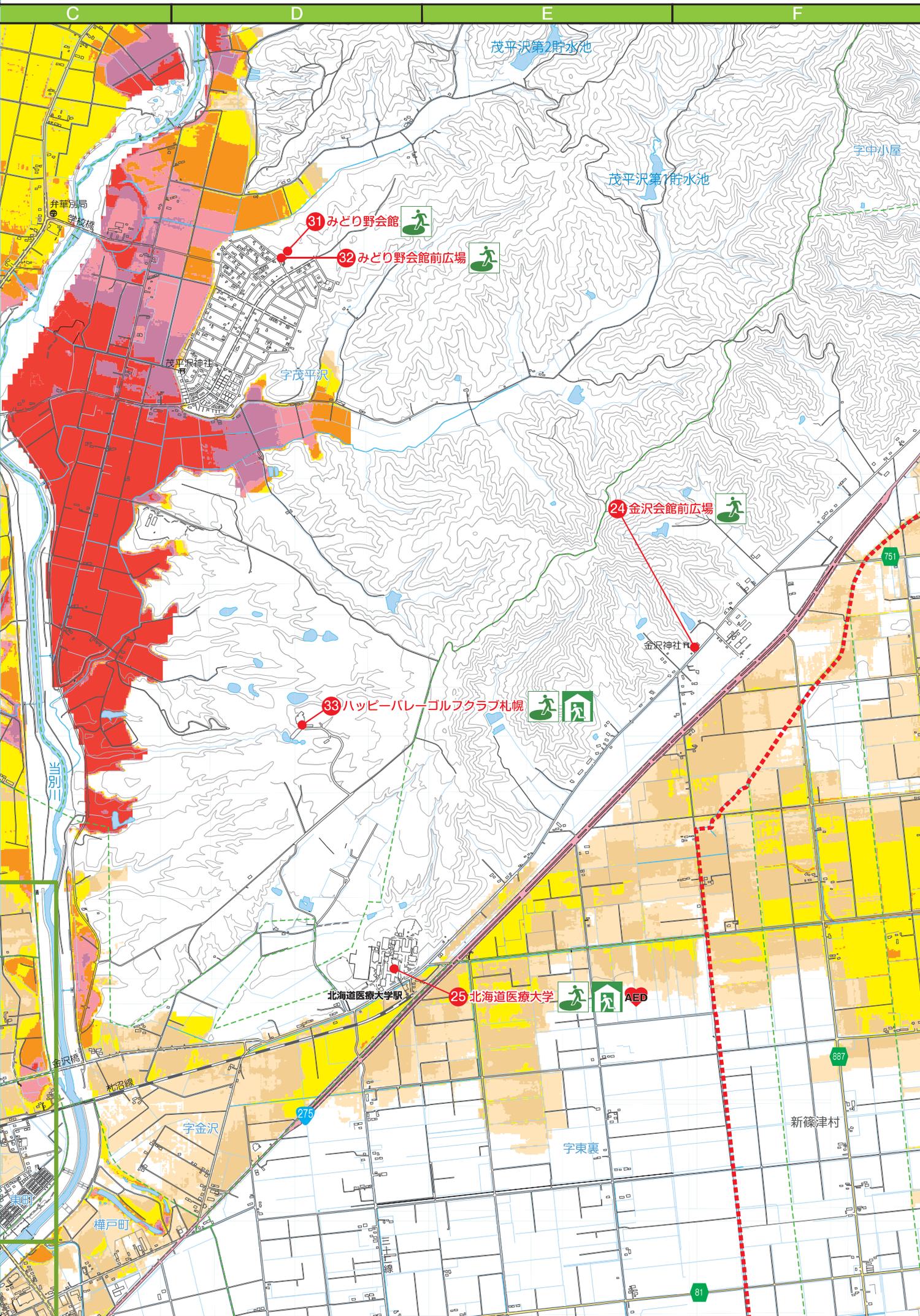
- 5.0m以上の区域
- 4.0m～ 5.0m未満
- 3.0m～ 4.0m未満
- 2.0m～ 3.0m未満
- 1.0m～ 2.0m未満
- 0.5m～ 1.0m未満
- 0.5m未満

指定緊急避難場所	指定避難所
AED設置箇所	病院
国道	地区界
道道	市町村界

浸水深と浸水の目安

 5.0m 以上の区域	2階の天井以上が浸水する程度
 4.0m～5.0m 未満	2階の天井まで浸水する程度
 3.0m～4.0m 未満	2階まで浸水する程度
 2.0m～3.0m 未満	2階まで浸水する程度
 1.0m～2.0m 未満	1階まで浸水する程度
 0.5m～1.0m 未満	大人の腰までつかる程度
 0.5m 未満	大人の膝までつかる程度





洪水

土砂

地震

避難所等情報一覧

共通